

遠藤周作学会 会報

第 14 号

2019年9月10日

発行 遠藤周作学会

代表 川島秀一

二〇一九年度遠藤周作学会・全国大会

総会報告

事務局より

◇第十四回二〇一九年度遠藤周作学会・全国大会開催

第十四回二〇一九年度遠藤周作学会・全国大会（長崎市遠藤周作文学館共催）と国際芥川龍之介学会・遠藤周作学会・長崎市立図書館共催学会は、二〇一九年八月二十二日（木）～二十五日（日）に、長崎市内にて開催された。

二十二日は十七時半から役員会が行われた。

二十三日の全国大会では、遠藤周作文学館見学と津文化村周辺散策の後、十三時から長崎市出津地区公民館にて四本の研究発表が行われた。また、周作クラブ長崎会員による朗読劇『女の一生 一部・キクの場合』が上演された（大会進行役：昭和女子大学 笛木美佳、梅光学院大学 池田静香）。

二十四日は、国際芥川龍之介学会・長崎市立図書館との共催学会であり、十時十分から長崎市立図書館にて四

本の研究発表と全体討論、二本の基調講演、四名のパネリストによる国際シンポジウムが行われた（大会進行役：五藤慶一（国際芥川龍之介学会）、佐藤まどか（遠藤周作学会））。

二十五日は、遠藤と芥川作品に関連するフィードバックが行われた。

遠藤周作学会・全国大会（八月二十三日）プログラム

【開会挨拶】

遠藤周作学会代表 川島 秀一

【研究発表】

① 遠藤周作のフランソワーズへの手紙

スペイン文学者 中西 省三
司会 上智大学 福田 耕介

② 遠藤周作『死海のほとり』におけるイエスの復活

と「人間の連帯」——「十三章」の構造に見る「復活の意味」をめぐる

東京大学大学院生 山根 息吹
司会 遠藤周作学会代表 川島 秀一

③ グレアム・グリーン 『ヒューマン・ファクター』
を読む遠藤周作——『深い河』への影響を中心に

四国大学 阿部 曜子
司会 国際基督教大学 マーク・ウイリアムズ

④ 遠藤周作文学における神概念の探求と変遷

——小説構造との関係において

清泉女学院大学 古橋 昌尚
司会 大阪産業大学非常勤講師 北田 雄一

【朗読劇】

女の一生 一部・キクの場合 周作クラブ長崎会員

【総会】

総会は、議長に北田雄一氏を選出して開かれた。まず、二〇一八年度事業報告がなされた。内容は次のとおり。

◆ 『遠藤周作事典』は、二〇一八年九月末の原稿締切り以来、編集委員で体裁や内容のチェックを進め、二〇一九年八月に鼎書房へすべての原稿を送付した。編集委員の判断で加筆修正を行ったものもあるが、ご了承いただきたい。今後、執筆者へのゲラ発送の準備を進めていく。

◆ 第十三回二〇一八年度遠藤周作学会・全国大会

を上智大学にて開催。会員三十八名の他、一般の聴講者の参加が多数あった。

◆ 機関誌『遠藤周作研究』第十二号発行。第十二号は、九篇の論稿、一篇の研究ノート、四篇の書評、笛木美佳氏による研究展望を収録。

◆ 会員数は、二〇一九年八月時点で九十四名。

◆ 笛木美佳氏により二〇一七年度の会計報告がなされ、承認された。

◆ 続いて、事務局より二〇一九年度事業計画が示された。内容は次のとおり。

◆ 第十四回二〇一九年度遠藤周作学会全国大会と国際芥川龍之介学会・遠藤周作学会・長崎市立図書館共催学会を長崎市にて開催。

◆ 機関誌『遠藤周作研究』次号（第十三号）募集要項等はこれまで通り。

◆ 二〇二〇年度の大会は、二〇二〇年九月十二日（土）に南山大学で開催予定。

【閉会挨拶】

遠藤周作学会副代表 山根道公

大会終了後、平成三十年春にアメリカにおける日本文学研究の発展や日米間の相互理解の促進に寄与したとして旭日中綬章を受章されたヴァン・C・ゲッセル氏の祝賀会を行い、海外における遠藤文学の理解を深めた氏

の功績をたたえた。

国際芥川龍之介学会・遠藤周作学会・長崎市立図書館

共催大会（八月二十四日）プログラム

【開会挨拶】

国際芥川龍之介学会会長 宮坂 覺

遠藤周作学会代表 川島 秀一

【研究発表】

司会 仁川大学 曹 紗玉

関西学院大学 細川 正義

① 「神神の微笑」論——〈異教〉の観点から開く新

たな読解

広島大学 Ferrero Damaso

② 芥川龍之介の棄教作品考察

慶一大学校 河 泰厚

③ パレルモ、ナガサキ、エドそしてN・Y。—キアラ

神父（ロドリゴ）の光と影—

文芸評論家・神学者 兼子 盾夫

④ 戦後文学における『切支丹物』—遠藤周作『沈黙』

を中心として芥川文学の系譜を考える—

京都外国語大学 長濱 拓磨

【特別基調講演】

① 「芥川龍之介のキリシタン文学、そして長崎」

フェリス女学院大学 宮坂 覺

司会 新潟大学 堀 竜一

② 「遠藤周作のキリシタン文学、そして長崎」

ノートルダム清心女子大学 山根 道公

司会 星美学園短期大学 武田 秀美

【シンポジウム】

「世界文学におけるキリシタン文学の位置づけ—芥

川・遠藤、そして長崎」

司会 活水女子大学 奥野 政元

明治大学 小谷 瑛輔

パネリスト 九州大学 松本 常彦

西ワシントン大学 Massimiliano Tomasi

南山大学 金 承哲

ブリガム・ヤング大学 Van C. Gessel

専修大学 高橋 龍夫

【閉会挨拶】 大会終了後、ホテルニュー長崎にて懇親会が行われ、

遠藤周作学会・国際芥川龍之介学会の会員が相互に交流

を深める貴重な場となった。

■ 事務局より

▼第十四回遠藤周作学会・全国大会と共催学会の会員参加者は、二十三日 二十九名、二十四日 三十三名でした。

さらに多くの聴講者も加わり、大変盛会となりました。長期間にわたる大会準備と当日の運営にご尽力くださいました、奥野政元氏と佐藤まどか氏に厚く御礼申し上げます。

▼今回の大会の研究発表は、四名の発表者が遠藤周作の作品ならびにその周辺について、日本文学の枠組みを超えた視点からアプローチし、刺激的な発表の場となりました。充実した内容が機関誌にまとめられますことを楽しみにしています。

周作クラブ長崎による朗読劇は、今井真理氏の素晴らしい脚本と、演者の皆様の心のこもった熱演によって、『女の一生 一部・キクの場合』の世界を見事に再現したものでした。長崎弁による朗読は大変味わい深く、外海の地での大会を締めくくるにふさわしいものでした。▼八月二十四日の国際芥川龍之介学会・遠藤周作学会・長崎市立図書館共催学会について、詳しくは、機関誌「遠藤周作研究」第十三号に報告を掲載予定です。

▼機関誌「遠藤周作研究」第十三号の投稿論文を募集します。投稿申し込みは、十二月末までに事務局へお願いいたします。機関誌の最後にある投稿規定をご覧ください。会員の方々の意欲的な投稿が多く寄せられることをお待ちしております。

▼次回の研究発表の申込みは来年五月末日締切りです。三月に改めて募集のお知らせをいたします。

▼次回の大会は、金承哲氏が所属される愛知県南山大学で行われます。愛知県は、遠藤が戦国三部作の執筆において刺激を受けた『武功夜話』が発見された地であり、作中にも度々登場します。多くの学会員が集い、充実した研究発表がなされ、盛会となりますことを期待します。▼最後に学会員の方々にご協力をお願いがあります。機関誌の「遠藤周作参考文献目録及び研究展望」は、次号より北田雄一氏が担当されますので、遠藤周作に関する会員の方々の論文はもちろん、入手できた参考文献についての情報を、北田氏に直接お知らせください(E-mail: Kitada.y0116@gmail.com)。また、これまでの参考文献目録について遺漏のある場合も、ご連絡をお願いします。(文責 会報担当 古浦修子)

遠藤周作学会 事務局

TEL: 03(3411)5019

東京都世田谷区太子堂1-7-57 昭和女子大学
日本語日本文学科 笛木美佳研究室内

TEL: 03(3411)5019

E-mail: f_mika@swu.ac.jp